

## 神の子

神の子と呼ばれるにふさわしい行動とは、どのようなものでしょうか。思いついたことを、つぎの空白に書いて下さい。

「平和を実現する人々は、幸いである。その人た

ちは、神の子と呼ばれる」。神さまの子にふさわしい人は誰かを考える時、必ずこの言葉が思い出されます。平和のために働く事は、すべての人々の課題ですが、キリスト者こそ、率先して平和のために働く必要があるのです。

教皇ヨハネ・パウロ二世は広島で平和スピーチを行ないました。「過去を振り返ることは将来に対する責任をになうことです。……広島市と日本国民は、『自分たちは平和な世界を希求し、人間は戦争もできるが平和を打ち立てることもできるのだ』という信念を力強く表明しました。この広島から、この広島の

出来事の中から『戦争に反対する新たな世界的な意識』が生まれました。

教皇による平和の訴えは決して新しい事ではなく、歴代の教皇によって繰り返し行なわれてきました。

教皇ヨハネ二十三世は回勅『パーチエム・イン・

テリス（地上の平和）』で次のように述べています。

「正義、英知、人道的感覚は、軍備競争を止めさせ

ることを切実に要求する。種々の国々にすでに存す

る軍備を、平行的に、同時に縮小し、原始兵器を禁止

し、そして最後に、共同の協定のもとに有効な監視

をともなつて、軍備全廃に到達することを要求する。

平和のために働く事はキリスト者の使命であり、

黙っているだけでは平和を築く事はできません。毎日の生活の場での実行が求められています。

